

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- シャッター本体の脱落や変形による作動不良・雨漏りの原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認してください。
- 下記項目は、本体の前倒れにより障子が脱落する原因になりますのでお守りください。
 - ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
 - ・窓台は平に取付け、取付け後、前倒れがない事を確認してください。
 - ・間柱は本体下枠の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。
 - ・下枠と躯体との間にすき間のないよう固定してください。
 - ・窓台と補強ブラケットとの間にすき間のないよう固定してください。
 - ・取付けねじは必ず締付け、固定してください。
- 下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでお守りください。
 - ・躯体と本体の取合わせ部には防水テープ（別売り）を張ってください。（右図参照）
 - ・外壁施工後、躯体と本体の取合わせ部には必ずシーリングしてください。
 - ・外壁は95mm以下に仕上げてください。

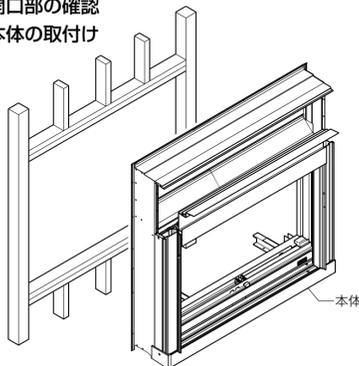
■取付けねじ一覧表

※下表の番号は本文図中の番号を示します。間違いないよう使用してください。

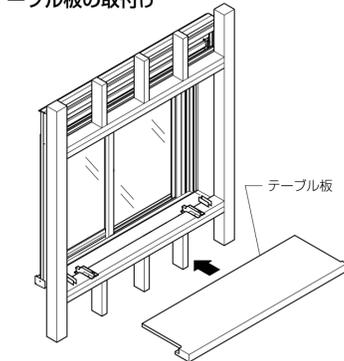
番号	①	②	③
名称	ナベタッピンねじφ4×30	丸木ねじφ4.1×63	皿タッピンねじφ4×35
姿図			
使用箇所	下枠位置決め金具 補強ブラケット	補強ブラケット	本体

■取付け順序

- 1 開口部の確認
- 2 本体の取付け

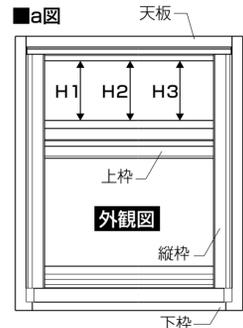


- 3 障子・ガラスの建込み、建付け調整
- 4 テーブル板の取付け



■施工上のお願

- 枠にはしごをかけたり、のったりしないでください。キズ・変形の原因になります。
- 組立てた製品を運搬する際、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けなどの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 立て掛ける際、補強ブラケットを下にして寝かささないでください。補強ブラケットが変形するおそれがあります。
- 内窓の取付けについては、内窓と同梱の取付け説明書を確認してください。
- ねじは2.5±0.5N・m {25±5kgf・cm} のトルクで止めた後、緩み・がたつきのないことを確認してください。
- 補強ブラケット固定用ねじは、締め過ぎないでください。
- 本製品のうち、サッシ枠の組立て及び取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター（電動）の施工範囲には含まれません。
- シャッター取付け部の開口寸法は、正確に出してください。（H寸法）寸法が正確に出ていないとシャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。（a図参照）
- サッシ枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠の上下の反りがないようにしてください。取付け精度が悪いとシャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- モルタル施工の際、ガイドレール・下枠にモルタルが付着しないよう指導してください。
- モルタルはく離剤は、アルミ表面をいためますので使用しないよう指導してください。
- シャッター部材の取付けについては本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

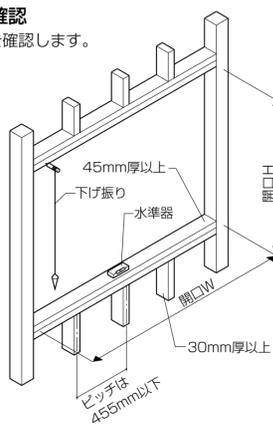


■取付け詳細

※図中の番号は、取付け部品一覧表の番号を示します。間違いないよう使用してください。

1 開口部の確認

- 水平・垂直を確認します。

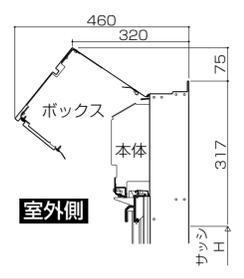


▲注意

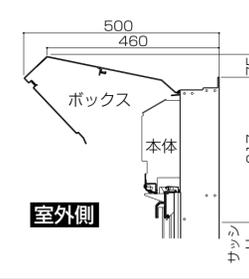
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 窓台は平に取付け、取付け後、前倒れがないことを確認してください。
- 間柱は、本体下枠の補強ブラケット位置に合わせて設置してください。

●シャッター本体の施工及びメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

■D型ボックス



■H型ボックス



2 本体の取付け

- 本体を開口部へ差込み、位置決め金具、補強ブラケット、縦枠、本体固定金具、天板、上枠、下枠の順で躯体に固定します。
- ※天板・上枠・縦枠の固定は水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認し、縦枠にたおれのある場合は、かい物などで調整してください。

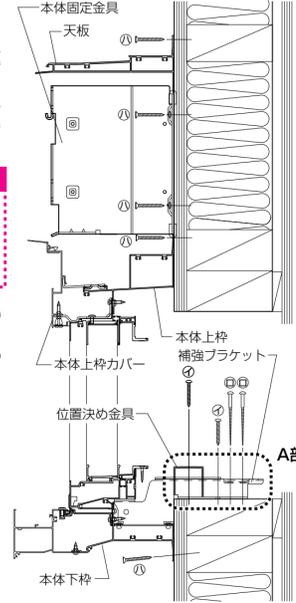
▲注意

- 躯体取付けねじは必ず締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するなどの不具合が発生することがあります。

- ※躯体と下枠の間にすき間が発生した場合は、必ずかい物などで調整してください。
- ※下枠の固定は水準器等で水平を確認し、上下に反りのある場合は、かい物などで調整してください。シャッターの作動不良の原因となります。

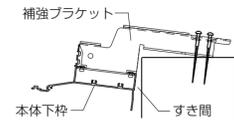
3 障子・ガラスの建込み、建付け調整

- ※内窓に同梱の取付け説明書を参考にして建込み、建付け調整します。



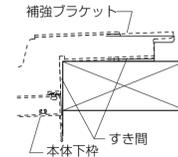
■A部詳細図

- ※補強ブラケット固定用ねじを締めすぎると、本体下枠と躯体の間にすき間が生じますので、締め過ぎないでください。



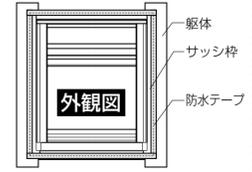
▲注意

- 本体下枠と躯体のすき間がないよう押し込んでからねじ止めしてください。
- 窓台と補強ブラケットとの間にすき間のないよう固定してください。



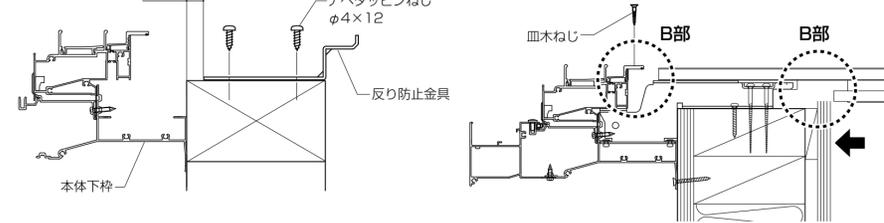
▲注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。

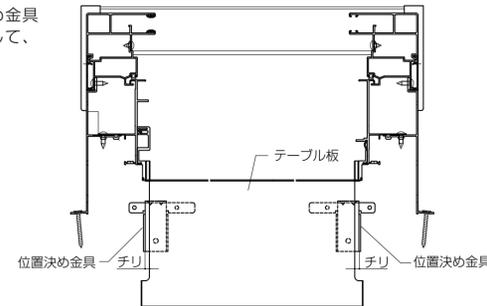


4 テーブル板の取付け（角型テーブル板：W≤870、1370<W≤2239のみ）

- ① テーブル板に同梱の反り防止金具を窓台へねじ止めします。
 - ② 内窓下枠フィンと補強ブラケットの間にテーブル板を差込んでねじ止めします。
- ※ねじはテーブル板に同梱の固定用ねじを使用します。 ※ねじは内窓に同梱のアンクル固定用ねじを使用します。

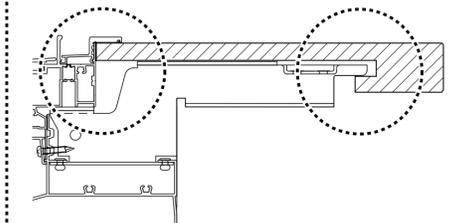


- ※左右方向は位置決め金具とのチリを均等にして、位置決めします。



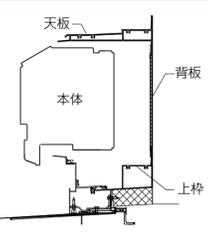
■B部詳細図

- ※テーブル板は下枠に当たるまで必ず押し込んでください。
- ※テーブル板は補強ブラケットに必ず引掛けてください。



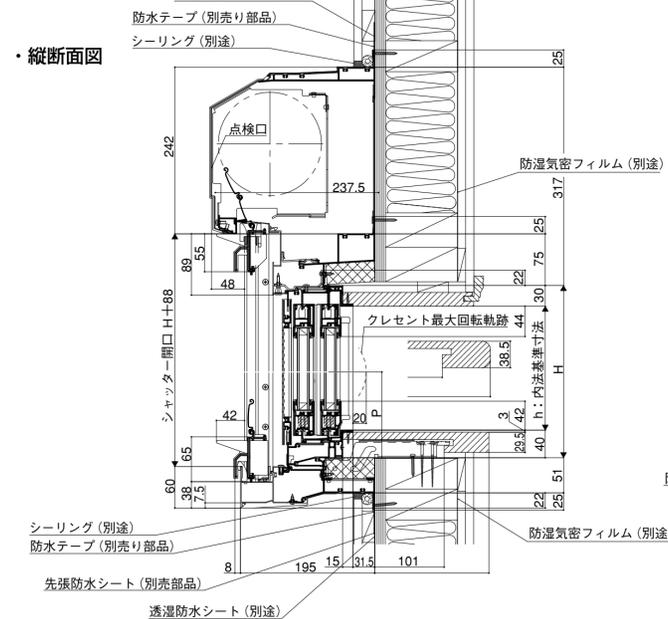
▲注意

- 本体取付けまでに防水が必要な場合は、防水シートを張ってください。
- ※防水シートのかわりにベニヤ板などをご使用の場合は、右図要領で取付けてください。

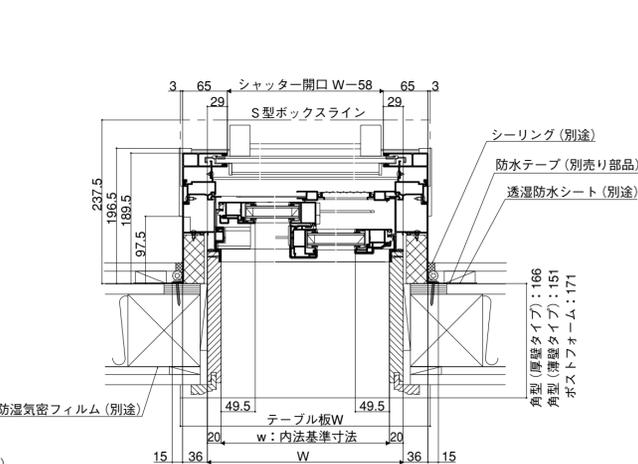


■納まり図

●シンフォニー引違い窓



●横断面図



角型（厚壁タイプ）：166
角型（薄壁タイプ）：151
ポストフォーム：171